

『うちどく』で 本と笑顔の花開く



「うちどくを始めたいけど、どんな本を選んだらいいかわからない。」「どうすればもっと本好きな子どもになるのかな?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。そんな皆さんがうちどくを気軽に始められるように、3つのポイントにまとめました。皆さんもやってみませんか。

あせらずコツコツ楽しんで



はじめの一步! 本選び

✓子どもと一緒に絵本を選びましょう



どんな絵本がお望みな?

- 子どもが気に入ったもの
- 絵がはっきりしていて分かりやすいもの
- 文章が短くて簡潔なもの
- 子どもが絵本に慣れてきたら、絵本以外でもOK!
- 保護者は同じ本でも違う本でもOK!



✓図書館を活用しましょう

運命の本を探しに、いざ図書館へ!



- 年代に応じたオススメのコーナーがある。
- 司書さんにぴったりの本を探してもらえる。
- 読書に関するイベントを楽しめる。

本の専門家の
司書さんに
相談もGOOD



『うちどく』名人に我が家はなる



✓日時を決めて習慣にしましょう

無理せずできる
日時にしよう!
変更もOK!



- 夕食後や就寝前など生活に合わせて出来る時に
- まずは5分だけでもOK!
(徐々に時間を延ばしてみましょう。)

✓読んだ後に感想を伝え合いましょう

- さし絵や主人公の気持ちなど何でもOK!
- 子どもの感想に共感を

短時間でも
楽しんで
コミュニケーションを



✓子どもの主体性を大切にしましょう

- 本の魅力を紹介する。
- 読む本のジャンルを子どもが決める。
- 子どもが読んだ本を肯定する。
- 読んだ感想を自然に引き出す。



子どもが本を楽しむために、
待つ姿勢も大切です

読書環境を一緒に変えよう



✓みんなが集まる場所から変えましょう

- 読みたい時にすぐに読めるように、リビングに本や本棚を置く。
- 時にはテレビを消して本を手に取りやすくする。

表紙が見えると
読書したくなる



環境づくりは
「うちどく」継続の
土台づくり



✓保護者が積極的に読書をしなさい

保護者がまず読書時間で
充実感を☆彡

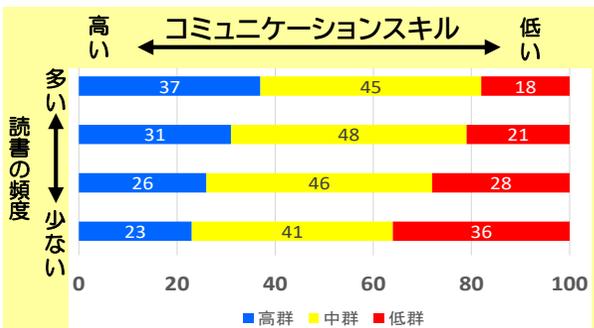


- 読書の習慣がある保護者の子どもほど、本を読む傾向があります。
- 子どもは読書を楽しんでいる親の背中をよく見えています。

読書のよさ



- 読書をすると想像力が豊かになる。
- 読書に集中すると心を落ち着かせられる。
- 読書の頻度が高い子どもほど、コミュニケーションスキルが高くなる。



(国立青少年教育振興機構 H27)

- ➔ いろいろな人とつながり、自分の世界を広げていく子どもになるかも！！

『うちどく』の効果



- 家族のコミュニケーションが活発になる。
 - 子どもも大人も本を読む習慣ができる。
- ➔ 子どもの自律を助け、保護者に心の余裕ができる。

年齢別の『うちどく』の例



① 0～8歳ぐらいまで

子どもを抱いたり、膝に座らせたりしながら、読み聞かせをして、親子のふれあいを楽しみましょう。
(子どもが安心感を感じて落ち着きます。)



② 9～12歳ぐらいまで

子どもが家族に読み聞かせをしたり、料理や折り紙の本などを読んで家族で作ったりしましょう。家族でPOP作りもおススメです。



③ 13～15歳ぐらいまで

歴史・図鑑・短いシリーズ・電子書籍など、子どもが好きなジャンルや手に取りやすい本をリビングに置いておくと良いでしょう。



福岡県家庭読書（うちどく）についてのくわしい内容（説明動画）はこちらのHPで！

[ふくおか社会教育ネットワーク ホームページ](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
【HPアドレス】<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

社ネット

検索



【発行】福岡県教育庁南筑後教育事務所社会教育室

福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」
運動推進実行委員会
読書活動推進リーフレット

ようこそ 『うちどく』の 世界へ



わくわく ときどき じーん が
あふれる 家族の時間



『うちどく』とは？

「家庭読書」の略語で、読書習慣を幼少期に身に付けるだけでなく、本をコミュニケーションツールとして、家族の絆を深めることを目的にしています。